

ソレ! へんてこな日本語です。

対象 20代～30代女性

仕様 A5判・2色／128p

企画構成・表紙デザイン・原稿執筆・編集校正・DTP組版・マンガ作成

作業期間 約3ヶ月



この仕事のポイント

- 「誤用例」をマンガや会話文で示すことで、「こういう使い方をしていたけれど、間違いだったのか！」という「気づき」を、読者が体験できるようにした。
 - 「忌み言葉」「時候の挨拶」など、社会で役立つちょっとした知識を、コラムを通じて学べるようにした。



心がけたこと①

メインページ例



煮詰まる

イラストと
文章のマッチを
大切にした

正 「議論が煮詰まってきたので、そろそろ結論をまとめよう」

煮物はぐつぐつと火にかけて、煮詰まつたらできあがり。おいしい一品の完成です。議論も同じで、煮詰まつたらよい結論ができるのです。

というのが本来の意味なのですが、「これ以上何も考えられない！」行き詰まつた！』といふときに使われることが多くなっています。国語辞典にも、考えが行き詰まるという意味が書かれているものもあり、次第に認められてきた使い方だとわかります。

ただし！年齢が上がるにつれ、本来の「結論が出る」という意味で使う人が多くなります。うつかり「煮詰まつてきました」なんて言つたら、上司は「もうすぐ結論が出るんだな」と思つてしまふかも！相手の様子を見てうまく使いましょう。

- 書店流通であることや、読者のターゲット層等をふまえて、教材よりも読みやすく、わかりやすい書籍となるよう、著者と何度も相談し合って原稿を固めた。

- 内外のスタッフとともに、校正やファクトの確認をおこない、誤った記述がないよう心がけた。

正確さ、
分かりやすさを
重視した文章

メインページ例

A 「会社に入った泥棒、確信犯だつたらしいね」「えっ、うちの会社、何か悪いことしてた？」
B 「えつ、会社は何もしてないよ！」

確信犯

○正しいと思つてする犯罪。
△悪いとわかつていてすること。

もともと「確信犯」とは、「こうすることが正しい」と信じてする犯罪のことと言います。なのでAさんは言い方だと、「この会社に盗み入るのは正しい」と思った泥棒に入られた、という意味になります。

しかしこの言葉、文化庁の調査によると、7割の人が「悪いことだとわかっていてする行為」のことだと考へているようです。現在では国語辞典などにも、「俗に」という断り書きをした上で、「この意味が記載されています。本来とは違った意味が人々の間で定着し、辞書にまで載るようになった代表の言葉、それが「確信犯」です。

A 「大学のC先輩、喫茶店を開いたって知つてた？」
B 「うん。サラリーマン生活から足を洗つたって」「……いつたいどんな業種に勤めてたの？」

足を洗う

○悪いことをやめる。
△仕事を辞める。

久しぶりに同窓会に出たら、昔、やんちゃだった男子が、笑顔の爽やかな喫茶マンになつていて、なんてことはありませんか。このように、悪いことをやめて真面目な生活を送ることを「足を洗う」と言います。

やつていたことをやめる、という言葉のイメージからか、最近では、職業を辞めるときに「足を洗う」を使う人もいます。ちょうど、Bさんのような使い方ですね。国語辞典によつては、「職業を辞めるという意味を認めているものもあります。これも、新しい言葉の使い方が定着してきたためでしよう。

正 「泥棒から足を洗つて、真面目に働く」



心がけたこと②

- イラストレーターと著者のそれぞれの持ち味をふまえ、紙面全体の雰囲気が崩れないよう、両者の間に立って調整を行った。



エディットの強み

- 教科専門の知識があるので、「学び直し本」や「大人の学習本」にも、正確な知識を持って対応が可能。

学参の
知識

一般向けの
学習書籍

「大人の
学習」

「学び
なおし」

さわり

○ 曲や話の盛り上がりどころ。

× 曲や話の出だし。



歌の「さわり」はどこですか？

イントロ？ 歌い出しの部分？

正解は、サビの部分なのです。

もともと、「さわり」は義太夫節の聞かせどころを表す言葉です。

人形を操って物語を表現する人形浄瑠璃。その舞台で、物語の背景から人物のセリフまで語る人が太夫。太夫の独特の語りと三味線の音が作り出すのが義太夫節です。

山場では義太夫節と人形のダイナミックな動きが観客を引き込み、舞台の盛り上がりは最高潮に！ そう、ここが「さわり」です。

恋愛映画ならずれ違いを乗り越えて主人公たちが結ばれるシーン、SF映画なら未知の生物との最終決戦に挑むシーンなどでしょうか。こ



れを観たかつたと満足感を覚えるシーンもあります。

しかし、文化庁の調査では、55%の人が「さわり」のことを「最初の部分」と思っていたという結果が出ています。

このような間違いが起こるのは、「さわる」という言葉が与えるイメージのせいたとも言われています。

「さわっただけ」や、「ちょっとさわらせて」のように、軽い意味で使われやすい言葉のため、音が似ている。「さわり」も「最初の部分をほんのちょっとだけ」という意味だととらえられやすいのです。

映画なら名場面、歌ならサビ。みんながいちばん盛り上がるところが「さわり」なのです。

正 「アイドルグループの新曲のさわりが、
CMに使われている」

引け目

○自分が劣っているという感じ。
×相手に借りがあること。

言葉

- A 「どうしたの？ 彼女に会いたくないなんて」
B 「お金を借りっぱなしで引け目があるんだ……」
A 「コンプレックスになるくらいなら返しなよ」

「引け目」は悪いことをしたという気持ちとは別物です。気が引けること、自分に自信がなくてオドオドすること、それが「引け目」です。

Bさんのように、相手に負担をかけて申し訳なく思っている場合は、「負け目」が正解です。

優秀な人が集まっているところや大きい舞台に立つと、自分が場違いな気がして、縮こまってしまうもの。しかし、引け目を感じる場は、自分のコンプレックスを見直し、成長するきっかけになるところもあります。

正 「優秀な先輩が多くて、引け目を感じる」

当たり年

○(いいことが)何度もある年。
×(悪いことが)何度もある年。

言葉

- A 「今年は台風の当たり年ですね」
B 「？」 台風で、いいことでも？」
A 「いえ、台風の被害の当たり年ですよ」

期待せずに引いたくじでも、当たるとかむうとうれしい——「当たり」は幸運を感じさせる言葉です。

「当たり年」の「当たり」も、幸運が続くという意味があります。悪いことは使いません。

人にとっての「当たり年」は仕事もプライベートもいい」とばかりの一年のこと。ミカンの「当たり年」なら収穫量が多い年です。そしてワインの「当たり年」はブドウの質がよく、美味しいワインができた年。

どの「当たり年」にも笑顔があふれています。

正 「今年はサンマの当たり年だった」

しみやか

○気分が沈んでいく様子。
×重々しく立派な様子。

言葉

- A 「お父さん、いつまで泣いてるの！」
B 「今日の式、しみやかだつたなあ」
A 「娘の結婚式にはかなこと言わないでよ、もう」

お母様はお怒りの様子。それもそうでしょう。「しみやか」は、気分が沈んでいく様子を表し、お葬式などに使われます。家から娘がいなくなつて、寂しくてたまらないのかもしれません、結婚式のようなおめでたい場に「しみやか」はいただけません。

友人代表として結婚式のスピーチを頼まれた場合には、悲しみを感じさせる言葉は使わないようにしましょう。

格式のある立派な式だ、と言いたいのであれば「おこぞか」がぴったりです。

正 「華儀がしみやかに執り行われる」

忌み言葉

スルメのことをアタリメって言うわね。食べたことない？ まあ、いいわ。

スルメの「スル」はお金を失うって意味があつて縁起が悪いから避けてるよ。これが「忌み言葉」。果物のナシだって、「有りの実」に言いかえるときもあるの。ものの名前を変えちゃうなんて、縁起は最強ね。

そういう、冠婚葬祭では、忌み言葉はもちろん、「重ね重ね」「再度」のように、何度もあることを表す言葉も使っちゃダメよ。これらは「重ね言葉」といつて、一度だけにしておきたい場では口にしない約束なの。「ますます」「によによ」なんかは、いつも使っている言葉だから注意してね。

結婚式では「切る」「割る」もタブーよ。